

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二中学校

教科	国語		学年	2学年	単元のまとまりの評価規準		
	単元名	時数			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	虹の足	3			抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	すすんで登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。
	活用のない自立語	1			単語の活用について理解を深めている。		積極的に活用のない自立語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
	新聞の投書を書く	5			情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
	SNSから自由になるために	5			抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。
	質問する力をつける	2			情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
	話し言葉と書き言葉	1			話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。		粘り強く話し言葉や書き言葉の特徴について理解し、学習課題にそって話や文章を読む際の生かし方を考えようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二中学校

活用のある自立語	2	用言の活用と種類・用法を理解する。	単語の活用について理解を深めている。		粘り強く自立語の活用について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
書写 点画の省略「初志」	1	点画の省略を理解して書くことができる。	点画の省略を理解し、字形を整えて書くことを把握している。 点画の変化を理解して、字形を整えて書いている。	行書の筆使いの中から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	点画の省略の書き方から自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
学ぶ力	4	文章の構成や論の展開に着目して筆者の主張をとらえている。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「読むこと」において、文章から筆者の説明の仕方を踏まえて内容を解釈している。 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	粘り強く必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書くようとしている。
まちがえやすい漢字	2	似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
随筆の味わい「枕草子」	3	古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。 言葉の意味を正確に捉えながら読み、作者の思いを想像する。	現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み理解したことや考えたことを説明しようとしている。
説得力のある提案をする	5	話の構成を効果的に組み立てて話す。 根拠の適切さに注意しながら、意見と根拠を分けて話す	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。	積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって考えを述べようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二中学校

書写 筆順の変化「深緑」	1	筆順の変化を理解して書くことができる。	筆順の変化を理解している。 筆順の変化を理解して書いている。	筆順の変化の書き方を確かめ、自己の課題を考えている。	筆順の変化の書き方について、課題意識をもって取り組んでいる。
夢を跳ぶ	4	自分の課題に応じて資料を探し、さまざまな情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって考えたことをレポートにまとめようとしている。
漢字の成り立ち	1	漢字の成り立ちについての理解を深める。	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
随筆の味わい「徒然草」	2	古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。 言葉の意味を正確に捉えながら読み、作者の思いを想像する。	現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み理解したことや考えたことを説明しようとしている。
書写 行書の特徴	1	これまでに学習してきた行書の特徴を理解して書くことができる。	これまでに学習した行書の特徴について理解している。これまでに学習した行書の特徴について、自己の課題を理解して書いている。	これまでに学習した行書の特徴から、自己の課題を考えている。	これまでに学習した行書の書き方に習熟し、配列よく書こうとしている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二中学校

書写 新聞を書く	6	文字の大きさや配列を理解して、読みやすく書くことができる。 目的や必要に応じて、効果的に伝える工夫の仕方を理解することができる。	さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について理解している。	さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について考えている。	さまざまな形式に合わせた配列を考え、漢字と仮名の調和に習熟しようとしている。
短歌の味わい	2	情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア【思考・判断・表現】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	すすんで内容を味わい、今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。
構成を明確にして手紙を書く	5	相手に対して適切に言葉を選ぶ。 書く内容を整理し、自分の考えをまとめる。	話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 敬語のはたらきについて理解し、文章の中で使っている。	「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。	積極的に敬語のはたらきについて理解し、学習の見通しをもって用途に合わせた文書を書こうとしている。
夏の葬列	6	人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解する。 時間の順序に留意し、人物の心情の変化や言動の意味について考え、作品を解釈する。 作品の構成や展開、表現の効果について考えを深める。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開(時間の流れと場面の展開)、表現の効果について考えている。	粘り強く時間の流れや場面の展開などの構造を捉え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。
根拠をもとに意見文を書く	6	多様な考え方があ問題について根拠をもとに推論して考える。 考えの理由づけを示して意見文を書く。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。
敦盛の最期 扇の的	4	登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。 文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。	歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。	すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことを話し合いの場で発言している。

令和5年度 評価規準

学校名: 江戸川区立篠崎第二中学校

二千五百年前からのメッセージ	4	表現を確かめながら、内容について自分の考えをまとめる。 文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	粘り強く現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって解釈したことを表現しようとしている。
紙の建築	2	事例の役割や効果を確かめながら読む。 事例と主張を関連づけて読み、筆者の行動とそれを支える考え方を捉える。 筆者の考えを踏まえ、社会との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって説明しようとしている。
漢字の多義性	1	漢字の多義性についての理解を深める。	多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている		すすんで漢字の多義性について理解し、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
書写 書き初めを書く「生命の尊重」	5	行書の特徴や配列を理解して書くことができる。	行書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。	紙面に対する行書と仮名の調和のさせ方を考えている。	自己の課題をもって取り組んでいる。
敬語	2	敬語のはたらきや特徴について知る。	敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。		粘り強く敬語のはたらきや特徴について理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。
ガイアの知性	5	筆者が用いる語句の意味を捉える。 筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。 自然や知性に対する筆者の考え方について、自分のもつ知識や経験と結びつけ、考えをまとめる。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで主張と例示の関係について考え、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
坊っちゃん	2	わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	すすんで内容を解釈し、複数の情報を整理しながら考えたことを提案しようとしている。
付属語のいろいろ	2	付属語にはどのようなものがあるのかを知る。	助詞や助動詞などのはたらきについて理解を深めている。		助詞・助動詞に興味・関心を抱き、助詞・助動詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二中学校

相違点を明確にして聞く	4	論理の展開などに注意しながら聞く。 話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら、自分の考えをまとめる。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって対話しようとしている。
観点を明確にして伝える	4	集めた情報を整理して関係を理解し、適切に活用して課題を解決する。 図表やグラフ、写真などを用いて、聞き手にわかりやすく伝える。	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を効果的に用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって説明しようとしている。
同音の漢字	1	同音の漢字についての理解を深める。	同音異義語などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		すすんで同音の漢字について理解を深め、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
記事を書く	3	情報がわかりやすく伝わるように、文章や見せ方を工夫する。	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。	積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。
豚	2	詩の構成や展開を踏まえ、詩の世界を豊かに想像する。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。
書写 書き初めを書く「真理の探究」	5	行書の特徴や配列を理解して書くことができる。	行書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。	紙面に対する行書と仮名の調和のさせ方を考えている。	自己の課題をもって取り組んでいる。
よりよい結論を導く討論をする	5	結論を導くために、相手の立場に立って推論しながら、意見を述べる。 互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。	積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
類義語・対義語・多義語・同音語	2	日常の生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉え直す。	類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		粘り強く類義語・対義語・多義語・同音語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
「連作ショートショート」を書く	4	表現したい内容に合った言葉を選び、語彙を豊かにする。 物語の構成や展開を意識して書き、表現の工夫や効果について考える。		「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	積極的に表現の効果を考えて、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二中学校

走れメロス	11	抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。 人称の変化に着目し、人物の心情や言動の変化を表すうえでの役割や効果を捉える。 登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。	抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。	すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。
書写 掲示物の案内を書く	1	文字の大きさや配列を理解して、読みやすく書くことができる。 目的や必要に応じて、効果的に伝える工夫の仕方を理解することができる。	さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について理解している。	さまざまな形式に合わせた漢字と仮名の調和や配列について考えている。	さまざまな形式に合わせた配列を考え、漢字と仮名の調和に習熟しようとしている。